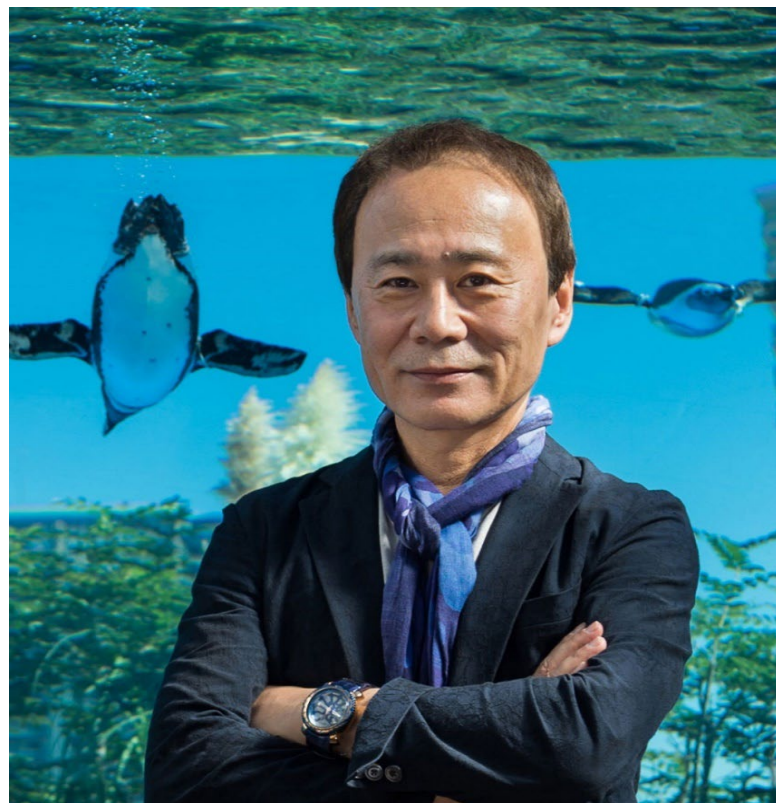


## 地域人材ネット

- ①水族館など博物館施設の開発・再生による観光再生
- ②バリアフリー観光による増客と人にやさしいまちづくり推進

中村 元 ( なかむら はじめ )

- ①株式会社中村元事務所 代表取締役
- ②特定非営利活動法人 伊勢志摩バリアフリーツアーセンター 理事長



○ 登録者情報  
所在地

東京都杉並区

## 略歴

1980～2002年 鳥羽水族館 副館長で退職  
1997～2002年 三重県観光連盟事業実行委員長  
2001～2003年度 和歌山県知事アドバイザー会議 観光担当アドバイザー  
2001年～現在 特定非営利活動法人 伊勢志摩バリアフリーツアーセンター設立、理事長  
2002年～現在 水族館プロデューサー  
2010年～現在 株式会社中村元事務所 代表取締役  
(プロデュース実績: サンシャイン水族館、男鹿水族館増築、新江ノ島水族館、山の水族館＝北の大地の水族館、お祭りミュージアム、マリンワールド海の中道、千歳水族館、マリホ水族館、四国水族館、妖怪美術館 他)  
2011年～現在 特定非営利活動法人 日本バリアフリー観光推進機構 理事長  
2012～2015年度 観光庁ユニバーサルツーリズム推進の委員およびアドバイザー

- ・伊勢志摩バリアフリーツアーセンターとして「国土交通省大臣表彰」受賞(2007年度)
- ・伊勢志摩バリアフリーツアーセンターとして「内閣府特命大臣表彰」受賞(2008年度)
- ・山の水族館を含む北見市の都市再生事業が「第9回まち交大賞 国土交通大臣賞」受賞(2014年度)

## 著書・論文等

- 水族館関係
  - ・水族館の開発・リニューアル計画とマーケティング戦略資料集(総合ユニコム2019刊)
  - ・中村 元の全国水族館ガイド125(講談社2019刊)
  - ・いただきますの水族館(瀬戸内人2017刊)
  - ・常識はずれの増客術～集客15倍増～(講談社2014刊)
  - ・水族館に奇跡が起きる7つのヒミツ(Coller出版2013年) 他
- バリアフリー観光関係
  - ・バリアフリー観光のためのホテル・旅館改修計画と地域受入体制づくりマニュアル(総合ユニコム2016刊)
  - ・88歳大女将、連日満室への道～集客10倍！バリアフリー観光はここまで来た～(タブレット2015刊)
  - ・経営参考BOOK～人と組織は変えられる！ヤル気組織の作り方～(みずほ総合研究所2006著)

- ①水族館など博物館施設の開発・再生による観光再生
- ②バリアフリー観光による増客と人にやさしいまちづくり推進

## 取組の内容

①水族館など博物館施設の開発・再生による観光再生(北見市山の水族館の事例 2010年～)  
内陸の寂れた観光地「温根湯温泉」にあり年間集客数が2万人になっていた「山の水族館」の建替え改修をプロデュース。同時に観光再生も提案し、立地による弱点であった「冬期の酷寒、淡水生物のみ、寂れた温泉地」などを逆手に使った「北の大地の水族館」を計画し、地域情報の発信と今までにない展示で15倍の利用者数に増客。温泉や飲食などの活気を取り戻しました。  
今までプロデュースした水族館など施設のほとんどで、それぞれ観光文化まちづくりとの連動を実施しています。

②バリアフリー観光による増客と人にやさしいまちづくり推進(伊勢志摩での取組例 2000年～)  
超高齢化社会の新たな集客マーケットとして、身体の衰えを感じる高齢者や障がい者など旅行を諦めやすい層の獲得を目指し、日本初のバリアフリー観光システム「パーソナルバリアフリー基準」を開発、その運用のための「伊勢志摩バリアフリーツアーセンター」を設立しました。地元行政と共に増客事業を協働して増客に成功。伊勢市では人にやさしいまちづくりの柱ともなりました。  
パーソナルバリアフリー基準は自ら全国のバリアフリー観光地に指導、日本バリアフリー観光推進機構の理事長として現在も各地でバリアフリー観光の推進を続けています。



山の水族館: 極寒と低予算を利用した「凍る川」の展示。冬のメディア力と集客力、住民の冬自慢にもなった。



伊勢志摩バリアフリーツアーセンターが伊勢市らとの協働で組織し運営する「伊勢おもてなしヘルパー」

## 実績

- 山の水族館＝北の大地の水族館：水族館建設の投資額わずか3億5千万円ながら、入館者は年間2万人を30万人に15倍増客。雇用5人の拡大と収入1億5千万円の増加。北見市に及ぼした経済波及効果の総額は42.9億円と算出されました。
  - ・他の手掛けた水族館および美術館の全てで、それぞれ過去最大の集客数を記録させています。
- 伊勢志摩は日本一のバリアフリー観光地として認知されるようになり高齢者・障がい者の旅行客が目立つようになりました。
  - ・三重県知事による「日本一のバリアフリー観光推進県」宣言がなされました(2013年)
  - ・伊勢市との協働による宿泊施設バリアフリー化事業によって、一宿泊施設の集客が10倍以上に増えるなどの効果がありました。(2011～12年)
  - ・20年間に渡り、毎年千件程度の相談を受けながらトラブルは皆無であることが評価されています。
  - ・伊勢神宮での参拝介助システム「おもてなしヘルパー」を伊勢市らと開発し運営を担っています(2018年～)
- 全国でバリアフリー観光の相談センター設立を指導・アドバイスに関わった地域は27カ所、うち設立まで至った地域は16カ所に上ります。(2006年～現在)

## 工夫した点や苦労した点

- ・施設や地域が隠したり諦めていた「弱点」を掘り起こして、その弱点を今までにない魅力に変えたり、弱点を起点に進化させました。
- ・メディアに注目される方法をあらゆる場面で考えてパブリシティを持たせました。
- ・ファシリテーションにより声の大きい常識人に隠れていた人材の能力を発掘して、そこから今までにない非常識な魅力を開発しました。

## ひとことPR

観光集客事業の成功のほとんどはパブリシティ(メディア露出)によって決まります。情報が遠隔地にいるマーケットに届かなくては結果が生じないからです。それゆえ私の事業開発は常に、地域の特色とりわけ弱点を利用して、いかにメディアの注目を得られるかを心がけます。また人材の能力活用と能力開発のために、水族館員や地域民とのファシリテーションによって推進することを心がけています。それによって新たな発想が生まれると共に、私の手が離れても理念や行動の進化が続きます。

## ○ 参考

### 取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
地場産品発掘・販路開拓	中心市街地活性化
6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	商店街活性化
地域中核企業等の支援	その他
○ その他 地域環境資源による観光産業の活性化	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	地球温暖化対策
集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	DMOとの連携
地区防災計画	インバウンド対応
BCP	民泊・農泊
避難所運営	地域おこし協力隊の推進
感染症対策	○ その他 観光増客／ユニバーサルツーリズム
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
滞在・活動の場づくり	起業・事業承継等支援
地域おこし協力隊の推進	空地・空家対策
地域と関係人口の協働	地域おこし協力隊の推進
その他	その他 誘客と増客／ユニバーサルツーリズム
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	人材研修
働き方改革	ふるさと教育
子どもの貧困対策	地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	○ 地域ブランディング
官民連携(PPP・PFI)	○ メディア活用策
自治体間連携	効果の把握・評価
○ 住民参加	○ その他 コンテンツのパブリシティ化
その他	

### 関連ホームページ

株式会社中村元事務所	<a href="https://aquarium-pd.jp">https://aquarium-pd.jp</a>
伊勢志摩バリアフリーツアーセンター	<a href="https://www.barifuri.com">https://www.barifuri.com</a>
北の大地の水族館ー山の水族館	<a href="https://onneyu-aq.com/about">https://onneyu-aq.com/about</a>

### 連絡先

メールアドレス	admin〔アットマーク〕web-aquarium.net		
---------	-------------------------------	--	--

※メールを送る際には〔アットマーク〕を『@』に変えてください。